

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	97. 市史資料調査・収集・保存事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	4. 市史編さん費	担当所属	佐倉図書館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第3章	地域の資源を活かした活力と賑わいのあるまち（産 業・観光・文化）	5年間計画額	3,376
臨時	単独	計画	0	0	0		基本施策4	文化・芸術振興	令和3年度	0
									令和4年度	1,688
							令和5年度	1,688		
							令和6年度	0		
							施策1	歴史・文化資産を保全・活用します	令和7年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		

財源内訳	一般財源
本年度当初要求額	0
本年度当初査定額	0

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・「下総佐倉堀田家文書」を中心とした佐倉関係の古文書等の歴史資料のマイクロフィルムを撮影します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査によって所在が確認された古文書等の歴史資料を収集し保存します。 ・(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設への移転、公開準備を行います。 	<p>(事業の目的) ・佐倉にとって貴重な歴史資料を後世に継承するために収集・保存を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文書等の歴史資料が整理・保存されることによって、市史編さんにおける活用ばかりでなく、市民による利用、研究等を促します。 ・新施設への円滑な移行、公開準備をすすめます。 	<p>(事業の効果) ・貴重な歴史資料の散逸、消滅することを防ぎ、後世への継承と活用が進みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の歴史資産に対する理解や関心が高まり、郷土の魅力や愛着を感じ、それを後世に伝えていくことの重要性を認識する契機となります。
<p>(事業実施上の問題点) 貴重資料の保存に加え、(仮)佐倉図書館等新町活性化複合施設への移転、公開に向けた整備、デジタルアーカイブ等情報発信に向けた準備などを行う必要があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 組織体制の見直しに伴い、発信方法充実を図るよう準備をすすめます。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	0	0